

上部消化管内視鏡検査の説明と同意書

鼻または口からファイバーを挿入し食道・胃・十二指腸をカメラで観察します。
ポリープ・がん・潰瘍・炎症・食道静脈瘤などがいないかを観察し、病変が見つかった場合は組織を採取して顕微鏡検査で良性か悪性かを判断する生検検査を行うことがあります。
出血している場合(食道静脈瘤、胃十二指腸潰瘍など)には止血処置を行うこともあります。

鼻からの挿入希望でも鼻腔が狭い場合、アレルギー性鼻炎などで一時的に鼻腔が狭くなっている場合、鼻の手術歴がある場合などで鼻からファイバーを挿入できない場合には経口挿入に変更となることがあります。

【偶発症】

経鼻挿入の方：鼻腔が狭い方は鼻の痛みや鼻出血

経口挿入の方：グラグラした歯や差し歯などの弱い歯がある方は歯の損傷
顎が小さく脱臼しやすい方は顎関節脱臼の危険性があります。

稀ですが消化管粘膜の出血や穿孔(穴があくこと)^{せんこう}などの偶発症を生じることがあります。
発祥の頻度は 0.005% (20,000 人に一人程度)、そのうち死亡に至る重篤な偶発症は 0.00019% (526,000 人に一人程度)発生しています。偶発症が生じた場合は最善の処置・治療を行いますが入院治療、緊急手術などが必要になる場合があります。

※検査時にポリープやがんを疑う病変がみられた場合やピロリ菌感染が疑われる場合には病変や粘膜の一部を採取して精密検査を行います(生検検査)
保険扱いになりますが別途検査料金が発生します。

1 割負担の場合：1,300 円程度

3 割負担の場合：4,000 円程度

上部消化管内視鏡検査についての上記説明を受け、内容を理解した上で検査を受けることに同意します。

令和 年 月 日

患者氏名 _____